

2.6倍になった厳選ポートフォリオの全売買履歴を公開！！

厳選ポートフォリオにおける、リーマンショック以後の全売買を公開しています。この売買シミュレーションコンテンツ(厳選ポートフォリオ)を使えばどんな相場でも株により資産を育てていくことができます。一つ一つの売買には意味があり、買いから売却、銘柄入替まで行ってお客様の株による財産形成をサポートしていくのがこの厳選ポートフォリオです。利益を確定して次の戦略銘柄を買うこの一連の流れが重要です。いかに今の相場ではそのようなサポートが重要かがお分かりいただけると思いますので最後までお読みください。

～3年間で厳選ポートフォリオは **2.66倍**～

-	08/10/27	09/3/10	10/7/13	11/1/16	上昇率
厳選ポートフォリオ	473万円	734万円	953万円	1,260万円	2.66倍

* 総評価額とは、組入れ評価額と購入可能現金残高を含めた金額(資産)です。

* 総評価額の千円台以下は切り捨てて表示しております。

* この売買シミュレーションは手数料・税金等のコストは計算に入れておりません。

* 「厳選ポートフォリオ」と同様の運用を行うには約1000万円の資金が必要となりますが、皆様の運用資産に合わせて購入株数を調節し、同じウェイトにすることで同様の成果が得られます。

お客様はただ売買を真似するだけで同じ結果が生じます。お客様のご資金に合わせてご活用いただけます。たとえば47万円の資金は126万円に増えていくツールが厳選ポートフォリオというツールです。

厳選ポートフォリオの売買はその時々大きな意味を持ちます。

例えば、下記に示すような大きな利益を確定した売買は利益確定売りがなかったら生まれなかった利益です。そして売ったから買える(逆に言えば売らなかったら買えない)というように連続しています。つまり売買は一連のつながりになっており、積みあがっていく利益は決してばらばらではないのです。その一連の動きがあるからこそ資産はどんな状況でも増えていくのです。

「厳選ポートフォリオ」での利益確定具体例～

組入時期	銘柄	買付株価	売却時期	売却株価	保有期間	実現利益
2008年10月	日本製鋼所	490円	2008年11月	1,000円	2週間	+408万円
2009年1月	日本碍子	1,152円	2009年11月	1,780円	10ヶ月	+117万円
2009年2月	アルバック	1,448円	2009年9月	2,232円	7ヶ月	+227万円
2010年10月	コマツ	1,989円	2011年2月	2,528円	4ヶ月	+163万円
2011年4月	サンリオ	2,867円	2011年8月	3,370円	4ヶ月	+60万円
2011年9月	戦略銘柄A	*5*0円	2012年1月	**35円	3ヶ月	+142万円
1月11日公開予定	戦略銘柄B	-	-	-	-	-

買付・売却株価は当社の厳選ポートフォリオにおける平均売却株価です

戦略銘柄Aは現在も継続保有しており、株価と評価益は2012年1月4日終値で掲載

様々な売買を経て現在の状況を生み出しております。タイムリーで的確な売買をしていかないと、今の相場でこのように資産を増やしていくことは難しいのです。

もし、これらの利益確定が出来ずに保有を続けていけば現在では下記のような状況です。

銘柄	買付株価	買付金額	11/12/26	評価額	評価損益
日本製鋼所	490円	392.0万円	528円	422.4万円	+30.4万円
日本碍子	1,161円	220.7万円	925円	175.7万円	-45.0万円
アルバック	1,448円	419.9万円	955円	276.9万円	-142.9万円
コマツ	1,989円	596.7万円	1,831円	549.3万円	-47.4万円

売却した株価から現在値はそれぞれ大きく値下がりしております。その時の売却情報を逃していたら、二度とその株価では売れなくなり、次の銘柄も購入出来なくなります。利益の確定と次の銘柄の大幅利益の二つの利益を失うこととなります。

ですから資産形成には買いから売却 次の銘柄を買うという一連の売買が重要なのです。確定された利益は次の銘柄の買い付けに資金が回ります。これら売買の積み重ねが「厳選ポートフォリオ」の資産が2.66倍になっている最大の理由です。

「厳選ポートフォリオ」の現在の組み入れ状況

買付日	銘柄	買付株価	株数	買付金額	1/16終値	現在評価	含み益
10/09/28	戦略銘柄A	X,5X0円	X,XXX株	1,068万円	X,X40円	1,182万円	+114.0万円
10/10/13	戦略銘柄B	X,6X0円	XXX株	46.9万円	X,X70円	47.7万円	+0.8万円
-	-	-	-	-	-	-	+114.8万円

現在は戦略銘柄Aを柱にすえて、今回の難局に向かっていきます。1/11には新しい戦略銘柄(戦略銘柄B)を購入する予定です。是非、一緒に今の局面を打開しましょう！！

目標はあくまでもお客様の大切なご資産を年々大きく育てていくことです。一時的には相場状況などにより資産が減ることがあったとしても、1年2年と継続的にご活用いただくことで、資産を大きく育てていけるように配慮しております。株式投資は守る時は守り、攻めるときは攻めていくことが大事です。そのため、当社では戦略銘柄(2倍、3倍の上昇が見込まれる銘柄)とその戦略銘柄の売買を強力にサポートする売買シミュレーション(厳選ポートフォリオ)の二本柱でサポートしているのです。

2008年の厳選ポートフォリオの売買

銘柄名	買い推奨日	買い推奨株価	株数	買い付け金額	売り推奨日	売り推奨株価	売却金額	売買損益
日本製鋼所(5631)	2008/10/28	490	1,000	490,000	2010/2/18	1,070	1,070,000	580,000
日本製鋼所(5631)	2008/10/28	490	7,000	3,430,000	2008/11/13	991	6,937,000	3,507,000
ドワンゴ(3715)	2008/10/31	102,100	4	408,400	2008/11/17	137,700	550,800	142,400
DOWA HD(5714)	2008/11/14	285	10,000	2,850,000	2008/11/20	260	2,600,000	-250,000
日立建機(6305)	2008/11/14	1,156	3,000	3,468,000	2008/11/17	1,050	3,150,000	-318,000
エイベックス(7860)	2008/11/17	848	2,000	1,696,000	2008/12/17	978	1,956,000	260,000
ピジョン(7956)	2008/11/17	3,300	500	1,650,000	2008/12/2	2,840	1,420,000	-230,000
カカコム(2371)	2008/11/17	325,000	3	975,000	2008/11/27	322,000	966,000	-9,000
エイベックス(7860)	2008/11/20	849	1,000	849,000	2009/1/13	902	902,000	53,000
エイベックス(7860)	2008/11/20	863	1,000	863,000	2008/12/17	978	978,000	115,000
三洋電機(6764)	2008/11/25	151	5,000	755,000	2008/11/27	152	760,000	5,000
日本製鋼所(5631)	2008/11/27	961	2,000	1,922,000	2008/12/2	919	1,838,000	-84,000
マースエンジ(6419)	2008/12/4	2,600	400	1,040,000	2009/1/16	2,810	1,124,000	84,000
カカコム(2371)	2008/12/4	352,000	3	1,056,000	2008/12/17	358,000	1,074,000	18,000
日本製鋼所(5631)	2008/12/12	1,005	1,000	1,005,000	2009/1/23	999	999,000	-6,000
日立建機(6305)	2008/12/17	1,150	2,000	2,300,000	2009/1/21	930	1,860,000	-440,000
クボタ(6326)	2008/12/17	588	2,000	1,176,000	2008/12/25	568	1,136,000	-40,000
フェローテック(6890)	2008/12/25	970	1,000	970,000	2009/1/16	1,160	1,160,000	190,000
エイチアイエス(9603)	2008/12/25	1,885	500	942,500	2009/1/16	1,660	830,000	-112,500
計	-	-	-	-	-	-	-	3,464,900

主な成果

-	買付日	買付価格	売却日	売却価格	利益
日本製鋼所	2008/10/28	490,000	2010/2/18	1,070,000	580,000
日本製鋼所	2008/10/28	3,430,000	2008/11/13	6,937,000	3,507,000
ドワンゴ	2008/10/31	408,400	2008/11/17	550,800	142,400
フェローテック	2008/12/25	970,000	2009/1/16	1,160,000	190,000
エイベックス	2008/11/17	1,696,000	2008/12/17	1,956,000	260,000
エイベックス	2008/11/20	849,000	2009/1/13	902,000	53,000
エイベックス	2008/11/20	863,000	2008/12/17	978,000	115,000
主な利益	-	-	-	-	4,847,400

主な成果

-	買付日	買付価格	売却日	売却価格	利益
日本碍子	2009/1/28	1,382,400	2009/11/16	2,304,000	921,600
日本碍子	2009/2/4	824,600	2009/4/13	1,078,000	253,400
アルバック	2009/2/25	2,027,200	2009/9/28	3,248,000	1,220,800
アルバック	2009/2/25	724,000	2009/1/16	1,292,500	568,500
アルバック	2009/2/25	1,448,000	2009/7/30	1,934,000	486,000
DeNA	2009/12/18	500,000	2010/5/26	731,000	231,000
主な利益	-	-	-	-	3,681,300

2009年の総括

アルバックは前半振り回される場面もありましたが、2月の下旬からしっかりと拾え、結果的に大きな利益を獲得することが出来ました。
 例え、売り買いがうまくいかなことがあってもしっかりその銘柄に向き合い、何度も挑戦することで大きな利益を生むことに成功した例です。損失を出す時は早めに売買を行います、利益を出すときにはじっくりと待ちます。損切りは数日、利益確定売りは数ヶ月の期間がかかることは良くあることです。

この辺も少し初心者の方には難しいと思いますが、このアルバックの例を見ても利益の確定までには数ヶ月の月日を要しています。この間、何の情報もないように見えますが、このようなときこそ利益がつみあがっていく時期なのです。今現在保有中の戦略銘柄Aももっとも最終的には利益が騰がっていく可能性が十分ありましよう。

アルバックの売買例

買付日	買付価格	売却日	売却価格	損益	売買期間
09/01/16	2,970,000	09/01/23	2,700,000	- 270,000	7日
09/01/21	2,095,200	09/01/22	2,040,000	- 55,200	1日
09/01/22	1,908,000	09/01/23	1,800,000	-108,000	1日
09/01/26	4,245,000	09/02/02	4,350,000	105,000	7日
09/02/04	4,371,000	09/02/20	4,200,000	- 171,000	16日
09/02/25	4,199,200	09/5 ~ 9月	6,474,500	2,275,300	3ヶ月 ~ 半年
合計損益	-	-	-	1,776,100	-

いかがでしょうか？人気の株になればなるほど初動期は目先筋も参戦するため、株価が振れやすくなります。そのためこのように何回か仕切り直しをしてチャンスを捉える事が大事ですね。最初で損したからといってあきらめる必要はないのです。

一方、日本碍子は全て利益となりましたが、これも利益確定までにとっても時間がかかっています。厳選ポートフォリオの売買を真似ながら最初の購入時期に合わせて初動でつくことがいかに大事かです。

-	買付日	買付価格	売却日	売却価格	利益	売買期間
日本碍子	2009/1/28	1,382,400	2009/11/16	2,304,000	921,600	10ヶ月
日本碍子	2009/2/4	824,600	2009/4/13	1,078,000	253,400	2ヶ月
-	-	2,207,000	-	3,382,000	1,175,000	-

この2銘柄の売買が2009年の利益を決定付けました。

アルバックや日本碍子でなく銀行株で売買を行った場合はどうなったでしょう？

代表する大手銀行株、三井住友銀行を1年通して同額保有していたと仮定した場合

-	2009/ 初値	-	2009/ 終値	利益
三井住友銀行株価	4,060円	-	2,645円	-34.8%

アルバックと同額投資したと仮定した場合	4,199,200円	-	2,735,682円	-1,463,518円
日本碍子と同額投資したと仮定した場合	2,207,000円	-	1,437,810円	-769,190円

実際には株数の関係があるので三井住友を同額購入は不可能ですので、あくまで単純に変動率をあてはめた仮定の数字です。

ですから2009年度大手銀行株を塩漬けにして保有したままにしておくのと臨機応変に売却したのではこんなに差が出てしまいます。

-	買付額もしくは2009初値	-	売却額もしくは2009終値
アルバック	4,199,200円	-	6,475,400円
三井住友銀行	4,199,200円	-	2,735,682円
差額	-	-	3,739,718円

日本碍子と比較した場合も同様です

-	買付額もしくは2009初値	-	売却額もしくは2009終値
日本碍子	2,207,000円	-	3,382,000円
三井住友銀行	2,207,000円	-	1,437,810円
差額	-	-	1,944,190円

実際には株数の関係があるので三井住友を同額購入は不可能ですので、あくまで単純に変動率をあてはめた仮定の数字です。

だからどの銘柄で売り買いするかが重要なのです。その売買を行う銘柄を弊社では戦略銘柄と名づけています。大事なことは今の戦略銘柄も同様の結果になることを想定しているため、現段階では保有を続けているのです。是非、一緒に行動して株式資産を劇的に変えて行きましょう！！

2010年の厳選ポートフォリオの売買

エルピーダメモリ(6665)	2010/1/5	1,585	300	475,500	2010/2/1	1,557	467,100	-8,400
エルピーダメモリ(6665)	2010/1/6	1,640	600	984,000	2010/2/1	1,557	934,200	-49,800
エルピーダメモリ(6665)	2010/1/21	1,688	900	1,519,200	2010/2/1	1,557	1,401,300	-117,900
DeNA(2432)	2010/1/22	557,000	2	1,114,000	2010/1/27	508,000	1,016,000	-98,000
エルピーダメモリ(6665)	2010/1/26	1,780	800	1,424,000	2010/2/1	1,557	1,245,600	-178,400
DeNA(2432)	2010/2/2	625,000	1	625,000	2010/5/26	731,000	731,000	106,000
DeNA(2432)	2010/2/15	653,000	2	1,306,000	2010/5/26	731,000	1,462,000	156,000
DeNA(2432)	2010/2/15	660,000	2	1,320,000	2010/3/11	627,000	1,254,000	-66,000
エルピーダメモリ(6665)	2010/2/17	1,600	2,000	3,200,000	2010/2/26	1,575	3,150,000	-50,000
DeNA(2432)	2010/2/23	726,000	2	1,452,000	2010/3/9	676,000	1,352,000	-100,000
アンリツ(6754)	2010/3/1	329	3,000	987,000	2010/3/10	332	996,000	9,000
富士電機(6504)	2010/3/2	211	5,000	1,055,000	2010/5/26	232	1,160,000	105,000
沢井製薬(4555)	2010/3/3	5,930	100	593,000	2010/3/10	5,660	566,000	-27,000
DeNA(2432)	2010/3/3	691,000	1	691,000	2010/3/9	676,000	676,000	-15,000
富士電機(6504)	2010/3/8	231	6,000	1,386,000	2010/5/26	232	1,392,000	6,000
富士電機(6504)	2010/3/9	238	8,000	1,904,000	2010/5/26	232	1,856,000	-48,000
富士電機(6504)	2010/3/10	243	7,000	1,701,000	2010/5/26	232	1,624,000	-77,000
荏原(6361)	2010/3/11	464	2,000	928,000	2010/4/22	459	918,000	-10,000
アンリツ(6754)	2010/4/8	421	1,000	421,000	2010/5/18	367	367,000	-54,000
ガンホー(3765)	2010/4/22	279,900	3	839,700	2010/5/18	197,100	591,300	-248,400
DeNA(2432)	2010/5/19	785,000	1	785,000	2010/5/26	731,000	731,000	-54,000

エルピーダメモリ(6665)	2010/5/26	1,529	2,000	3,058,000	2010/6/9	1,674	3,348,000	290,000
エルピーダメモリ(6665)	2010/5/26	1,529	1,700	2,599,300	2010/6/9	1,741	2,959,700	360,400
エルピーダメモリ(6665)	2010/5/26	1,529	300	458,700	2010/6/2	1,580	474,000	15,300
エルピーダメモリ(6665)	2010/5/26	1,529	2,000	3,058,000	2010/6/1	1,655	3,310,000	252,000
グリーン(3632)	2010/6/1	1,240	100	124,000	2011/3/16	1,184	118,400	-5,600
グリーン(3632)	2010/6/1	1,240	1,900	2,356,000	2010/10/19	1,160	2,204,000	-152,000
グリーン(3632)	2010/6/2	1,338	1,500	2,007,000	2010/10/6	1,292	1,938,000	-69,000
DeNA(2432)	2010/6/9	2,932	100	293,200	2011/3/16	2,845	284,500	-8,700
DeNA(2432)	2010/6/9	2,932	900	2,638,800	2010/10/19	2,144	1,929,600	-709,200
グリーン(3632)	2010/6/14	1,360	1,000	1,360,000	2010/10/6	1,292	1,292,000	-68,000
グリーン(3632)	2010/6/14	6,800	300	2,040,000	2010/7/29	7,070	2,121,000	81,000
アンリツ(6754)	2010/7/29	484	4,000	1,936,000	2011/3/16	571	2,284,000	348,000
旭ダイヤモンド(6140)	2010/10/6	1,680	2,000	3,360,000	2010/10/25	1,360	2,720,000	-640,000
旭ダイヤモンド(6140)	2010/10/19	1,480	1,000	1,480,000	2010/10/25	1,360	1,360,000	-120,000
コマツ(6301)	2010/10/29	1,989	900	1,790,100	2011/3/16	2,531	2,277,900	487,800
コマツ(6301)	2010/10/29	1,989	400	795,600	2011/2/20	2,563	1,025,200	229,600
コマツ(6301)	2010/10/29	1,989	300	596,700	2011/2/14	2,537	761,100	164,400
コマツ(6301)	2010/10/29	1,989	600	1,193,400	2011/2/2	2,534	1,520,400	327,000
コマツ(6301)	2010/10/29	1,989	700	1,392,300	2011/12/19	2,505	1,753,500	361,200
コマツ(6301)	2010/10/29	1,989	100	198,900	2010/12/15	2,488	248,800	49,900
ウェザーニューズ(4825)	2010/12/7	1,365	600	819,000	2011/3/16	1,458	874,800	55,800
大塚HD(4578)	2010/12/15	2,197	100	219,700	2011/3/16	1,827	182,700	-37,000
DeNA(2432)	2010/12/20	3,005	600	1,803,000	2011/2/3	2,884	1,730,400	-72,600
計	-	-	-	-	-	-	-	320,400

主な成果

-	買付日	買付価格	売却日	売却価格	利益
アンリツ	2010/7/29	1,936,000	2011/3/16	2,284,000	348,000
コマツ	2010/10/29	1,790,100	2011/3/16	2,277,900	487,800
コマツ	2010/10/29	795,600	2011/2/20	1,025,200	229,600
コマツ	2010/10/29	596,700	2011/2/14	761,100	164,400
コマツ	2010/10/29	1,193,400	2011/2/2	1,520,400	327,000
コマツ	2010/10/29	1,392,300	2011/12/19	1,753,500	361,200
コマツ	2010/10/29	198,900	2010/12/15	248,800	49,900
主な利益	-	-	-	-	1,967,900

2010年の総括

2010年は前半、DeNAとGREE、エルピーダを中心に売買。エルピーダは1月の売買こそ、34万円のマイナスはなったものの5月に再度挑戦し、91万円の利益確定に成功しました。しかしここが最後の売買(6月9日)となり、その後は一切買い推奨していません。もうスイッチは切り替わり、コマツへとつないでいったのです。このスイッチの切り替わりが非常に重要となります。スイッチが変わらないでそのまま保有を続けると損失を抱え続けることになってしまいます。このようなことも厳選ポートフォリオを活用する上で非常に重要なこととなります。

10月に入りコマツの1点買いから難解な局面を突破。コマツで合計で162万円の利益を確定しました。コマツの買い付け株価は1900円台、売却株価は平均で2500円台。

現在のコマツの株価は1822円(1/6現在)。このコマツを売却をしなければ、当然、今保有を続けている戦略銘柄Aを買える資金はありません。コマツの買い情報だけ活用した場合に比べてコマツの利益確定売り+戦略銘柄Aの含み益の利益がなくなり、コマツは損失となってしまいます。だから売買が重要でひとつの売買だけで雲泥の差が開いてしまうのです。だから厳選ポートフォリオは連続して活用することが非常に重要なのです。

ここで重要なことは、株式はたとえいい銘柄であっても売買のタイミングによって結果が大きく異なってくるということです。だから買い情報だけでなく、銘柄入替や売却までの売買サポートが重要なのです。

エルピーダの売買例

買付日	買付価格	売却日	売却価格	損益
09/01/6	984,000	2010/2/1	2,700,000	-270,000
09/01/21	1,519,200	2010/2/1	2,040,000	-55,200
2010/1/26	1,424,000	2010/2/1	1,800,000	-108,000
2010/5/26	9,174,000	09/6/1 ~ 9	10,091,700	917,700
合計損益	-	-	-	484,500

2011年の厳選ポートフォリオの売買

フェローテック(6890)	2011/2/2	1,305	1,100	1,435,500	2011/3/16	1,243	1,367,300	-68,200
フェローテック(6890)	2011/2/3	1,326	300	397,800	2011/3/16	1,243	372,900	-24,900
浜松ホトニクス(6965)	2011/2/7	3,100	400	1,240,000	2011/3/16	2,964	1,185,600	-54,400
浜松ホトニクス(6965)	2011/2/14	3,190	300	957,000	2011/3/16	2,964	889,200	-67,800
DeNA(2432)	2011/2/20	3,130	300	939,000	2011/3/16	2,845	853,500	-85,500
フェローテック(6890)	2011/3/23	1,615	2,000	3,230,000	2011/8/8	1,511	3,022,000	-208,000
コマツ(6301)	2011/3/24	2,673	1,300	3,474,900	2011/5/19	2,634	3,424,200	-50,700
コマツ(6301)	2011/3/24	2,673	600	1,603,800	2011/5/12	2,762	1,657,200	53,400
コマツ(6301)	2011/3/24	2,673	100	267,300	2011/4/25	2,788	278,800	11,500
フェローテック(6890)	2011/3/29	1,752	1,000	1,752,000	2011/6/22	1,945	1,945,000	193,000
エムスリー(2413)	2011/4/25	515,000	1	515,000	2011/8/23	695,000	695,000	180,000
旭ダイヤモンド(6140)	2011/5/12	1,674	1,000	1,674,000	2011/8/8	1,617	1,617,000	-57,000
サンリオ(8136)	2011/5/19	2,867	1,200	3,440,400	2011/8/23	3,370	4,044,000	603,600
スタートトゥデイ(3092)	2011/5/23	1,609	100	160,900	2011/8/23	1,930	193,000	32,100
DeNA(2432)	2011/6/22	3,460	500	1,730,000	2011/8/23	3,800	1,900,000	170,000
グリーン(3632)	2011/8/9	1,905	600	1,143,000	2011/8/23	2,200	1,320,000	177,000
DeNA(2432)	2011/8/9	3,635	300	1,090,500	2011/8/22	3,960	1,188,000	97,500
グリーン(3632)	2011/8/10	2,005	1,000	2,005,000	2011/8/22	2,210	2,210,000	205,000
フェローテック(6890)	2011/8/15	1,610	400	644,000	2011/8/19	1,486	594,400	-49,600
三井住友FG(8316)	2011/8/26	2,178	5,500	11,979,000	2011/9/6	2,128	11,704,000	-275,000
グリーン(3632)	2011/9/7	2,573	1,000	2,573,000	2011/9/12	2,503	2,503,000	-70,000
グリーン(3632)	2011/9/8	2,656	1,000	2,656,000	2011/9/12	2,503	2,503,000	-153,000
三井住友FG(8316)	2011/9/8	2,153	1,000	2,153,000	2011/9/12	2,086	2,086,000	-67,000
グリーン(3632)	2011/9/14	2,480	1,000	2,480,000	2011/9/14	2,394	2,394,000	-86,000
タムロン(7740)	2011/9/16	2,238	1,000	2,238,000	2011/9/26	2,277	2,277,000	39,000
計	-	-	-	-	-	-	-	445,000
12/6現在評価益	-	-	-	-	-	-	-	1,120,000
実現 + 評価益計	-	-	-	-	-	-	-	1,565,000

2011年の総括

2011年は3/11大震災の影響で大きな混乱を余儀なくされましたが、一旦現金化してポートフォリオを再構築し最小限の損失でとどめることが出来ました。また8~9月はギリシャ問題で市場が大揺れました。弊社はこの場面も何回か現金化をしたりして損失を最小限にとどめました。

値幅では何と言ってもエムスリー、小型なので最小単位での買付にとどめたため18万円の利益でしたが、利益率は35%!

そして、サンリオで利幅を稼ぎ、現在は戦略銘柄Aで含み益形成中です。2011年は大きな変動が2回もあったにも関わらず、現在含み益を入れると150万円以上の利益が出ています。またこの最後の現金化は戦略銘柄Aの買付資金に回り、現在大きな含み益を作るのに役立っています。

ライジングブルの助言サービスは長期に亘る場合もあります。

利益を確定するまで時間をかけて大きな値幅を取るケース

があるためです。購入してしばらく売却をしないケースだとその間はサービスがないように感じてしまう方も中にはいらっしゃるかもしれません。(現在がそうかもしれません)しかし、その間も売却しない保有を続けていくというのも非常に意味があることなのです。またその後の売買の決断も同じく重要になってきます。

利益を確定するまで時間をかけて大きな値幅を取るケース

実際に下記の買い推奨、売り推奨は期間がかなり空いています。

銘柄	買い推奨日	買い推奨株価	売り推奨日	売り推奨株価	保有期間	厳選ポートフォリオの実現利益
日本碍子	2009年1月28日	1,152円	2009年11月16日	1,920円	10ヶ月	117万円の利益確定
アルバック	2009年2月25日	1,448円	2009年9月28日	2,320円	7ヶ月	177万円の利益確定
コマツ	2010年10月29日	1,989円	2011年3月16日	2,531円	5ヶ月	161万円の利益確定

売り推奨株価は同じ銘柄でもばらばらに売却しているケースもあります。その場合は多少違う株価となっています。

売買シミュレーションコンテンツは、半年・1年と時間が経過した時に資産を1.5倍・2倍へと増やしていくために、その時の相場環境で最良と思われる選択をしていきます。日本碍子であれば1,152円で購入し、最終的に10ヶ月保有して1,920円で売却して利益を確定することで完結します。アルバックやコマツも同様です。

日本碍子やアルバック、コマツのように時間をかけて上昇していくケースは、5%や10%の利益で売却してしまえば、その後の上昇による利益を喪失してしまいます。右肩上がりに上昇して日々財産が増えていくのであれば非常に楽なのです。しかし、このようなケースばかりではありません。刻々と変化する世界の経済情勢や政治、政策、企業を取り巻く環境を見極めながら売買していかなければ株による財産形成は出来ません。購入から売却までサポートしている当社だからこそそのサービスです。

もし買うだけ買って、新しい銘柄情報が出ないからといって当社のサービスを止めて今でも上記の銘柄を保有していれば、今では資産は大きく目減りしていたでしょう。ですから購入から売却までの情報を一元管理することが重要になってきます。

主な成果

-	買付日	買付価格	売却日	売却価格	利益
DeNA	2011/6/22	1,730,000	2011/8/23	1,900,000	170,000
DeNA	2011/8/9	1,090,500	2011/8/22	1,188,000	97,500
エムスリー	2011/4/25	515,000	2011/8/23	695,000	180,000
サンリオ	2011/5/19	3,440,400	2011/2/20	4,044,000	603,600
戦略銘柄A	2011/9/28	-	-	(含み益形成中)	1,120,000
主な利益	-	-	-	-	1,991,100

2012年は？

まず1月11日に「厳選ポートフォリオ」で新規銘柄を買い付けました。今後、売却までサポートします。

今後の予定

現在、上手くいっていない方も1月-2月にかけて新規「戦略銘柄」で一気に挽回を！

厳選ポートフォリオと同様の比率で購入されている方は今の難しい局面を資産を減らさずに着実に増やして行ってます。問題は軌道から外れている方。

そのような方の資産状況を一気に改善して頂くため、ライジングブルでは1月-2月にかけて新規「戦略銘柄」を買い推奨していく方針です。

ぜひ、乗り遅れないように！一緒に改善させていきましょう！

弊社会員サイトでは、7つのコンテンツ全てが3ヶ月9,000円～閲覧できます。
当社の厳選した株情報で、今の厳しい相場をチャンスに転換し、皆様の将来の資産形成に是非ご活用下さい。
[会員お申し込みはこちら](#)

【会員サイトのご案内】

当社では成功報酬やレポートごとの別料金などは一切ございません。3ヶ月9,000円～で下記の全てのサービスをご利用頂けます。

コンテンツ名	内 容
売買シミュレーション (厳選ポートフォリオ) (初～上級)	当社が選定した日本株戦略銘柄を中心に実践的な売買シミュレーションで実際に銘柄選択から買い・売りの投資タイミングをお伝えします。(メール配信あり)
売買シミュレーション (100万円売買シミュレーション) (初～上級)	厳選ポートフォリオと同様のコンセプトで運用を行い、100万円の資金を1.5倍、2倍へと成長させていくことを目指して運用を行います。(メール配信あり)
日本株戦略銘柄情報 (初～上級)	当社の基幹コンテンツのひとつ。リサーチを重ねた上で中長期(3ヶ月から6ヶ月以上)にわたり大きく上昇が期待できる銘柄を推奨しレポートします。
日本株戦略レポート (初～上級)	マクロ的な日本株市場展望や経済展望のレポートや各セクターの新材料関連のレポートをわかりやすく解説します。
短期推奨銘柄 (中～上級)	ファンダメンタルズを精査したうえでテクニカルを加味し短期的に利幅を狙える銘柄を提供します。(メール配信あり)
本日の投資戦略 (初～上級)	貴重な本日の株式相場の投資指南、財産形成に必要な情報をレポートしています。また、株式投資を成功に導くため過去の事例などをあげてのアドバイスやサポートを行っております。
IPO銘柄情報 (上級)	IPO全銘柄のブックビルディング情報から上場後の投資戦略まで詳細にサポート。

3ヶ月9,000円～の会員サービスを是非、ご活用ください。

[会員お申し込みはこちら](#)